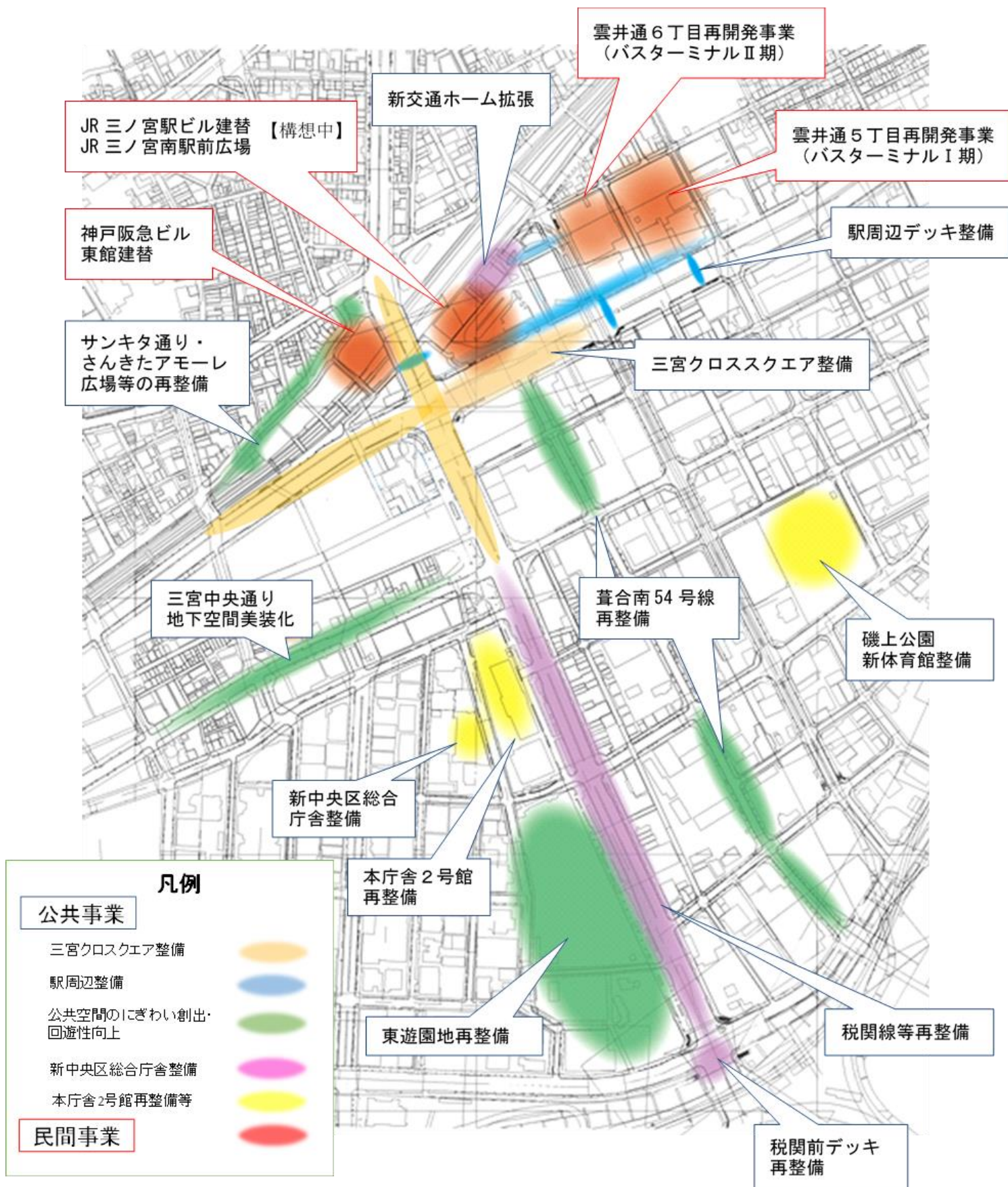


三宮周辺の主な事業について



※令和2年度事業及び今後予定されている
主な事業を参考に記したもの

① 検討の目的

- ✓ **ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた新しいまちづくりにあたっては、感染症対策という面からも安全・安心であることが、市民や来街者等にとって重要な視点となっている。**
- ✓ **そこで、新たな公共空間や多くの人が利用する施設の整備が進みつつある都心三宮エリアにおいて、感染症対策の視点から新たな取組（神戸モデル）を検討するため、有識者による検討会を設置し、先進事例や知見等を研究しながら、具体的な手法や運用方法など有効な方策について検討し整理する。**
- ✓ **検討会でのとりまとめを踏まえ、市が新たな取組を実施・公表することで、市民や来街者、施設管理者等にとって、より安心で安全な三宮再整備を推進する。**

② 検討の視点（案）

- ✓ **神戸らしい取組であること**
→神戸の新たなシンボルである「三宮クロススクエア」をはじめ、公共空間も民間施設も含めた幅広い対象を想定したい
- ✓ **取組みやすさを重視**
→より多くの「場」で取り組まれるよう、手続きや内容等において取組みやすさを重視したい
- ✓ **フレキシブルな仕組み**
→日々蓄積される新たな知見に対応し、柔軟にアップデートができるよう、フレキシブルな仕組みとしたい